推 薦 図 書

学　科：　健康生活学部　子ども学科	氏　名：　六角屋 久美子
書　名：　ぼんぼん	
著者・訳者：　今江祥智著	
出　版　：　理論社　2012	

〈推　薦　文〉

この本との出会いは、９～１０歳頃に訪れる発育発達上の変化について調べようとしていた際に心理療法家の河合隼雄氏によって、小学４年生の内面を理解できる児童文学の本として紹介されているのを偶然目にしたことがきっかけでした。小学４年生の主人公が、家庭の中の出来事や戦争へ突入していく社会の中で体験していく出来事と葛藤、そして成長していく様子が描かれた作品です。少年が大人の社会を受け入れ、成長していく過程もさながら、戦争を体験した作者ならではの戦時中の描写が強烈に心に残った本です。正義の名の下に、簡単に多くの人の命や財産を奪ってしまう戦争の愚かさ、哀しさを実感できた本です。戦争体験者が高齢化し、現実味が薄れていく中、若い人には是非読んでいただきたい本の一つです。